

(約 700 文字)

美馬 のゆり (ミマ・ノユリ) 博士 (学術)
学習環境デザイナー／学習科学者
公立はこだて未来大学システム情報科学部 教授

東京から函館に移住して 15 年超。気候・食・文化の豊かな函館の大ファン。電気通信大学 (計算機科学)、ハーバード大学大学院 (教育学)、東京大学大学院 (認知心理学) で学ぶ。博士 (学術)。公立はこだて未来大学および日本科学未来館の設立計画策定に携わる。設立後は、大学では教授、科学館では副館長(2003-2006)を務める。

副館長任期終了後、函館に戻り地域密着型の一連のイニシアティブを開始。科学コミュニケーション促進と科学リテラシー向上のためのボランティア組織「サイエンス・サポート函館」を 2008 年に立ち上げる。また、産学官民連携を推進し、地域ブランド商品を研究開発する「函館ハーブ研究会」を 2010 年に発足。

NHK 経営委員(2013-2016)のほか、中央教育審議会委員、科学技術学術審議会委員、日産財団理事などを務める。

代表著作：『理系女子的生き方のススメ』(岩波書店)、『「未来の学び」をデザインする—空間・活動・共同体』(東京大学出版会)、Bachnik (編)『Roadblocks on the Information Highway』(Lexington Books)「On-line Technology Isn't Enough: Transforming the Teacher-Student Learning Process」、『不思議缶ネットワークの子どもたち—コンピュータの向こうから科学者が教室にやってきた!』(ジャストシステム)。

サイエンス・サポート函館の活動で、平成 26 年度文部科学大臣表彰科学技術賞 (理解増進部門) を受賞。